

3 協働事業実施状況（令和6年度）
① 協働の形態：共催（25件）

No.	実施年月日	協働事業の名称	担当部署	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	参加人数 (複数回の場合 は延べ人数)	取組の効果、市民からの反響等
1	令和6年5月11日 令和6年5月25日 令和6年6月2日 令和6年7月20日 令和6年9月28日 令和6年10月19日 令和6年11月16日 令和7年1月11日 令和7年2月15日	子ども広報部「びとこま」	美術博物館	例年実施 (平成24年～)	美術博物館の美術館活動における基本理念のひとつである「子どもの感性を育む美術館」に基づき、子どもたちの美術全般に対する興味・関心を高めることを目指している。 また、アートを媒介とした子どもと大人のディスカッションに活動の力点を置くことで、子どもたちの論理的な思考力や表現力を高めることをねらう。	N P O 法人 樽前artyプラス	171	参加者からは、「また参加したい」、「子どもと大人のディスカッションを通して子どもの成長が見られた」など一定の評価を得ている。子どもの美術全般に対する興味・関心を高めるだけでなく、人と関わる積極性が向上するなど子どもの成長にも良い影響を与えていると考えている。
2	令和6年5月12日	ノーザンホースパークマラソン2024	スポーツ都市推進課	例年実施 (平成23年～)	マラソン大会の実施 ノーザンホースパークを会場とし、苫小牧市・安平町・千歳市を回るコース設定 ・ハーフ+7kmトレイル ・ハーフマラソン ・7kmトレイル ・2.5kmペアラン	ノーザンホースパークマラソン実行委員会、（公財）苫小牧市スポーツ協会、安平町、安平町体育協会、安平町教育委員会	3,850	スポーツの振興や地域住民の参画、また多くの参加者等により地域活性化に寄与している。
3	令和6年6月15日 令和6年6月29日 令和6年7月1日	令和6年度 苫小牧市中小企業創業サポート事業	商業振興課	例年実施 (平成27年～)	創業サポート事業は、苫小牧市、苫小牧商工会議所及び苫小牧市男女平等参画推進センターにおいて開催される創業セミナーの受講完了者に、創業等に要する経費の一部を補助することにより、「苫小牧市中小企業振興条例」を推進し、地域経済の発展、経営基盤の強化、雇用の確保を図ることを目的とします。	苫小牧商工会議所、苫小牧市男女平等参画推進センター	66	本事業のセミナー参加人数は延べ66人、補助金の交付申請は22人から申請されました。その結果、令和6年度内で実際に市内で創業し、補助金の交付決定に至ったのは21人となり、地域経済の発展、経済基盤の強化、雇用の確保に寄与したものと捉えています。
4	令和6年6月29日～30日 令和7年2月2日	リーダー養成事業（子ども会交流会）	青少年課	例年実施 (昭和52年～)	本事業は様々な体験活動から積極的な社会参加するたくましい青少年を育成する目的で実施しており、苫小牧市子ども会育成連絡協議会の後援事業となっている。苫小牧市子ども会育成連絡協議会主催の各種事業もリーダー養成認定事業であることから、各種事業に参加することでポイントが得られ、リーダー認定を行う制度を協働で行っている。	苫小牧市子ども会育成連絡協議会	108	子どもたちの育成について、各地域の子ども会を育成する役割を担っている苫小牧市子ども会育成連絡協議会と協働して計画及び実施することにより、子どもたちに多くの学習機会を提供することができ、また、多様な意見を聴取することで更なる事業の発展につながっていると考ええる。
5	令和6年7月2日～ 令和6年7月4日	2024年度サテライトゼミ 苫小牧「若手リーダー研修」	工業・雇用振興課	単年度（新規）実施	中小企業が限られた人材を“戦力”に育てるための視点や手法を理解し、強い組織を作り上げるための人材育成の進め方について演習や事例を交えて学んだ上で、自社の人材育成プランの立案に取り組む。	独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部	19	2つの研修を合わせて、市内企業27社から管理者やリーダークラスの方、47人が参加し、経営や人材育成の目的、必要性を学び、演習等を交え、企業の垣根を超えた人脈づくりにも繋がり、市内の中小企業の振興を図ることができた。
6	令和6年7月4日 令和6年9月5日 令和6年11月8日 令和7年1月9日 令和7年3月6日	居場所とまこま【苫小牧市社会福祉協議会】	総合福祉課	例年実施 (令和元年～)	ひきこもりで悩む当事者や家族を対象とした情報交換と交流の場として開催。 苫小牧市で受けられるひきこもりに対する支援の紹介、ピアスタッフによる実体験の話や現在ピアスタッフとして働くことについての講演、ひきこもりの研究を行う北大准教授による講演などを行っている。	苫小牧市社会福祉協議会、苫小牧保健所	146	第4回の講演会に関して多くの市民が参加し強い関心がうかがえた。
7	令和6年7月14日 令和6年7月20～21日	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024とまこまい	健康支援課	例年実施 (平成28年～)	がん患者やその家族を支援し、地域全体でがんに向き合い、がん征圧を目指すことを目的としたチャリティ活動。ウォーキングイベントやがんサバイバーのトークイベント、講演会などを行っている。	リレー・フォー・ライフ・ジャパンとまこまい実行委員会、苫小牧市、北海道	2,600	例年多くの市民やがんサバイバーなどが参加しており、がんの支援の輪が広がっている。また、イベントで寄せられた寄付は、がん患者支援及びがん征圧のため日本対がん協会により運用されている。
8	令和6年7月28日	苫小牧民報杯 第36回苫小牧ハスカップトライアスロン大会in勇払【悪天候のため中止】	スポーツ都市推進課	例年実施 (平成24年～)	トライアスロン競技の実施 ・一般の部 スイム1.5km、バイク40km、ラン10km ・リレーの部 スイム1.5km、バイク40km、ラン10km ・バイク&ラン バイク40km、ラン10km 国民体育大会北海道ブロック予選会 日本選手権北海道予選会 日本学生選手権北海道地区予選会 北海道トライアスロンサーキット 同時開催	苫小牧トライアスロン協会、（公財）日本スポーツ協会、（公財）北海道スポーツ協会、株式会社苫小牧民報社、（公財）苫小牧市スポーツ協会、苫小牧市教育委員会	-	スポーツの振興や地域住民の参画、また多くの参加者等により地域活性化に寄与している。

No.	実施年月日	協働事業の名称	担当部署	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	参加人数 (複数回の場合 は延べ人数)	取組の効果、市民からの反響等
9	令和6年8月21日	令和6年度 苫小牧市民塾	生涯学習課	例年実施 (平成19年～)	『ともに生き抜くために！今、身に着けたい災害対応力』をテーマに苫小牧市女性団体連絡協議会と共催。東日本大震災、胆振東部地震の際に自衛官として災害派遣に従事した講師のお話を伺いながら、北海道版避難所運営ゲームを行う。	苫小牧市女性団体連絡協議会	43	講演内容は、防災の心構えから始まり、100円均一で購入できる防災グッズ、震災時の自衛隊の活動の説明が行われ参加者は熱心にメモを取るなど聞き入っている様子であった。 後半の避難所運営ゲームは、参加者をグループ分けして行っただが、どのグループも笑い声が絶えず大変盛況のうちに終了した。
10	令和6年8月21日～ 10月31日	まちかどミーティング	協働男女・平等参画室	例年実施 (昭和62年～)	市長が各地区に出向いて、町内会や自治会の方と地域が抱える課題や要望等について、意見を交換する懇談の場である。また、市民の方に知っていただきたい情報について、市職員がテーマプレゼンテーションとして説明することにより、双方向の対話形式になるよう取り組んでいる。	16地区（82町内会）	244	250件弱の意見や要望等が提出されており、各担当課で対応をしている。すぐに解決できない要望等もあるが、できることはすぐに対応し、住みよいまちづくりに寄与しているものと考えている。
11	令和6年8月28日～ 9月1日 令和6年9月11日～ 9月15日	第25回大学アイスホッケー交流戦	スポーツ都市推進課	例年実施 (平成12年～)	国内の大学アイスホッケーチームの交流	公益財団法人苫小牧市スポーツ協会	400	・全国各地から大学のアイスホッケー部が集うところで、氷都とまこまいとしてのブランド力向上。 ・宿泊や飲食による、地域経済効果
12	令和6年8月29日 令和6年9月12日	次世代自動車部品等機能・構造を学ぶ研修会	テクノセンター	単年度（新規）実施	自動車産業のサプライヤーが集積する苫小牧地区にて自動車のE V化の動きに関する情報提供を行うため。	北海道経済産業局、（一社）北海道機械工業会	45	アンケート調査では、「参考になった」または「やや参考になった」との回答を参加者の9割以上から得られた。また、「実物があって、大変勉強になった」や「資料が分かり易かった」などの意見も得られた。
13	令和6年8月31日	苫小牧小・中学生のための札幌しおさいコンサート	生涯学習課	例年実施 (平成21年～)	本市の小・中学生に生のオーケストラ演奏を肌で感じてもらい、豊かな感性を育むことを目的とする。	株式会社北海道新聞社 株式会社苫小牧民報社	608	本市の小・中学生に生のオーケストラ演奏を肌で感じてもらい、豊かな感性を育むことを目的として本事業を実施した。申し込み時点では、820名の入場希望者があった。 今年度は8月31日（土）に実施。雨天の可能性もあったが、天候にも恵まれ、608名の方に来場していただくことができた。 今年度は、楽器紹介の際に有名なジブリの曲を演奏するなど、観客が親しみやすい工夫がなされていた。指揮者体験コーナーも好評であった。アンコールとして、サプライズで「みんなのともちopp」を演奏した。壇上にとまちoppが登場しダンスをすると、観客席から曲にあわせての手拍子などが見られた。全体として、観客の方々は、今回もフルオーケストラの演奏を十分に楽しんだ様子であった。このような反応を得たことから本コンサートは、今年度も十分な成果をあげたものと判断する。
14	令和6年10月5日	パブリックビューイングinプラネタリウム	科学センター	例年実施 (令和5年～)	氷都苫小牧を拠点とするチームとしてアイスホッケーの魅力高め地域の活性化に貢献することを目指す(株)レッドイーグルス北海道の趣旨に賛同し、レッドイーグルス北海道の試合のパブリックビューイングを行うことで、地域に根差した活動を行うと同時に、プラネタリウムの地域利用及び多目的な利用を目指す。試合の休憩時間に星空解説を行い、プラネタリウムと試合の両方を楽しんでもらう。	(株)レッドイーグルス北海道	40	プラネタリウムを投影以外で利用できるめずらしさと、プラネタリウムのスクリーンに大画面表示を行い、またレッドイーグルス北海道による解説付きで多くの人と観戦できることから非常に好評を得ている。また、プラネタリウムを利用したことがない方にも足を運んでもらう良い機会となっている。
15	令和6年10月28日 令和6年10月29日	令和6年度技術者研修	テクノセンター	例年実施 (平成27年～)	苫小牧地域の製造関連企業に対する人材育成を実施するため。 実施コース 「精密測定技術」	北海道職業能力開発大学校	10	セミナーで取得できる技術は苫小牧地域の製造業などにとって非常に有用であり、地域企業の技術力向上に寄与できた。
16	令和6年11月2日～5日	えがおの花咲く写真展 i n 苫小牧	介護福祉課	例年実施 (平成29年～)	介護や福祉の現場が優しい気持ちであふれていること、そこで生活する人や働く職員がともに人生をつくっている様子を見ていただき、素敵なえがおの花が沢山咲いていることを知ってもらおう。	えがおの花咲く写真展 i n 苫小牧2024 実行委員会	-	介護の現場を写真展として周知することで、市民の介護に関する関心や介護職への関心につながり、地域からの介護への理解や介護職への就労のきっかけとして寄与している。

No.	実施年月日	協働事業の名称	担当部署	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	参加人数 (複数回の場合 は延べ人数)	取組の効果、市民からの反響等
17	令和6年11月4日	リーダー養成事業（子ども会スポーツ交流会）	青少年課	例年実施 （昭和52年～）	本事業は様々な体験活動から積極的な社会参加するたくましい青少年を育成する目的で実施しており、苫小牧市子ども会育成連絡協議会の後援事業となっている。苫小牧市子ども会育成連絡協議会主催の各種事業もリーダー養成認定事業であることから、各種事業に参加することでポイントが得られ、リーダー認定を行う制度を協働で行っている。	苫小牧市子ども会育成連絡協議会	32	子どもたちの育成について、各地域の子ども会を育成する役割を担っている苫小牧市子ども会育成連絡協議会と協働して計画及び実施することにより、子どもたちに多くの学習機会を提供することができ、また、多様な意見を聴取することで更なる事業の発展につながっていると考える。
18	令和6年11月10日	市民技能体験教室 「箱庭を作ろう」	工業・雇用振興課	例年実施 （昭和62年～）	（目的） 市民と技能士とのふれ合いを通じて、技能そして技能士制度への理解を深める。 （内容） 「箱庭を作ろう」 庭の手入れについて講義と実技指導	（共催） 一般社団法人 苫小牧地域職業訓練センター運営協会 （協力団体） 苫小牧造園協同組合	15	各教室終了後のアンケート結果では、無回答者を除いた参加者の100%が満足していると回答している。
19	令和6年11月12日	令和6年度 移動工業試験場（苫小牧）	テクノセンター	例年実施 （平成10年～）	道内中小企業の技術力向上及び地域産業の振興発展を図ることを目的として、工業技術や環境技術に関する講習会を実施	（地独）北海道立総合研究機構 工業試験場	27	金属材料に関する技術のほか、水処理やエネルギー関連の最新技術情報が提供され、苫小牧市内企業にとって、有益なものであった。
20	令和6年12月3日～ 令和6年12月5日	2024年度サテライトゼミ 苫小牧「若手リーダー養成講座」	工業・雇用振興課	単年度（新規）実施	中小企業が限られた人材を“戦力”に育てるための視点や手法を理解し、強い組織を作り上げるための人材育成の進め方について演習や事例を交えて学んだ上で、自社の人材育成プランの立案に取り組む。	苫小牧商工会議所	35	2つの研修を合わせて、市内企業27社から管理者やリーダークラスの方、47人が参加し、経営や人材育成の目的、必要性を学び、演習等を交え、企業の垣根を超えた人脈づくりにも繋がり、市内の中小企業の振興を図ることができた。
21	令和7年1月16日～ 1月26日	第55回道新杯争奪小学生アイスホッケー大会	スポーツ都市推進課	例年実施 （令和5年度までは主催として実施）	若年同のアイスホッケー強化と層の拡大、普及を図る	北海道新聞苫小牧支社	173	アイスホッケーの普及、地域住民の参画による地域活性化に寄与している。
22	令和7年1月25日	市民技能体験教室「クロス貼り体験」	工業・雇用振興課	例年実施 （昭和62年～）	（目的） 市民と技能士とのふれ合いを通じて、技能そして技能士制度への理解を深める。 （内容） 「クロス貼り体験」 家のクロスの剥がし方、貼り方の講義と実演	（共催） 一般社団法人 苫小牧地域職業訓練センター運営協会 （協力団体） 苫小牧内装業協会	15	各教室終了後のアンケート結果では、無回答者を除いた参加者の100%が満足していると回答している。
23	令和7年2月15日～16日	リーダー養成事業（子ども芸術祭）	青少年課	例年実施 （昭和52年～）	本事業は様々な体験活動から積極的な社会参加するたくましい青少年を育成する目的で実施しており、苫小牧市子ども会育成連絡協議会の後援事業となっている。苫小牧市子ども会育成連絡協議会主催の各種事業もリーダー養成認定事業であることから、各種事業に参加することでポイントが得られ、リーダー認定を行う制度を協働で行っている。	苫小牧市子ども会育成連絡協議会	109	子どもたちの育成について、各地域の子ども会を育成する役割を担っている苫小牧市子ども会育成連絡協議会と協働して計画及び実施することにより、子どもたちに多くの学習機会を提供することができ、また、多様な意見を聴取することで更なる事業の発展につながっていると考える。
24	令和7年2月16日	市民技能体験教室「日曜大工」	工業・雇用振興課	例年実施 （昭和62年～）	（目的） 市民と技能士とのふれ合いを通じて、技能そして技能士制度への理解を深める。 （内容） 「日曜大工」 ウッドデッキの作製、塗装	（共催） 一般社団法人 苫小牧地域職業訓練センター運営協会 （協力団体） 苫小牧建築大工技能士会、苫小牧塗装工業協同組合	20	各教室終了後のアンケート結果では、無回答者を除いた参加者の100%が満足していると回答している。
25	令和7年3月8日	市民技能体験教室「しっくい塗り体験・タイルアートづくり」	工業・雇用振興課	例年実施 （昭和62年～）	（目的） 市民と技能士とのふれ合いを通じて、技能そして技能士制度への理解を深める。 （内容） 「しっくい塗り体験・タイルアートづくり」 しっくい壁塗り体験、タイルアート作製	（共催） 一般社団法人 苫小牧地域職業訓練センター運営協会 （協力団体） 苫小牧地方左官協同組合	9	各教室終了後のアンケート結果では、無回答者を除いた参加者の100%が満足していると回答している。